



2023 年度 技術者継続教育「基礎コース」講習会 (期間限定の録画オンデマンド視聴)

協 賛：計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，日本機械学会，日本航海学会
(予定) 日本材料学会，日本船舶海洋工学会，日本トライボロジー学会，日本造船工業会，日本中小型造船工業会，日本舶用工業会，
日本内燃機関連合会，日本陸用内燃機関協会

1. 目的

マリンエンジニアリングに関わる技術者の諸問題等への対処能力向上のための技術者継続教育(Continuing Professional Development, CPD)プログラムの一環として，専門技術の基礎知識を習得・応用することを目的としたセミナー(講習会)です。この「基礎コース」は，講義科目の充実を図り《機関係》と《電気系》の2コースを設定しております。

2. 対象者

- ・機関技術者：ディーゼル機関メーカ(研究開発，設計，製造，検査，保守)及び海運会社のエンジニア
 - ・機装技術者：造船所の機装技術者，周辺機器メーカ
 - ・電気技術者：造船所の電装技術者，電気機器メーカ
 - ・マリンエンジニアリングに関わる技術者
- 上記の技術者で入社3～5年程度の方を対象としています。

3. 申込方法

- ・申込の受付は，当学会 WEB サイト上で行ってまいります。 <https://www.jime.jp/>
- ・団体の場合も，お一人ずつ，WEB からお申し込みください。

4. 定員

各コース 25名

5. 受講料

- ・正会員及び学生会員：40,000 円
- ・維持会員所属の非会員，協賛学協会会員，協賛団体所属の非会員：50,000 円
- ・非会員：80,000 円

6. 講義題目

《機関係》

講義No.	講義題目
KM-0	技術者倫理
KM-1	熱力学と内燃機関概論
KM-2	ディーゼル機関の基礎
KM-3	機関振動の基礎
KM-4	機関制御の基礎
KM-5	船用機関の制御機器
KM-6	機関室の概要
KM-7	ディーゼル船の機関プラント概要
KM-8	ディーゼル発電機関の基礎
KM-9	船用燃料油の基礎
KM-10	船用エンジン油の基礎
KM-11	燃料潤滑油の船内処理の基礎
KM-12	船型と船体推進の基礎
KM-13	船体構造概要
KM-14	軸系・プロペラの基礎
KM-15	軸系アライメント
KM-16	鋳造技術及び鉄鋼材料の基礎
KM-17	溶接技術の基礎
KM-18	非破壊検査技術の基礎
KM-19	船用発電機の概要
KM-20	船内計装システムの概要
KM-21	船用機関関連法規
KM-22	排ガスの計測と規制の動向

《電気系》

講義No.	講義題目
KE-0	技術者倫理
KE-1	船用電気設備概論
KE-2	ディーゼル機関の基礎
KE-3	機関制御の基礎
KE-4	船用機関の制御機器
KE-5	排ガスの計測と規制の動向
KE-6	ディーゼル船の機関プラント及び機関室の概要
KE-7	ディーゼル発電機関の基礎
KE-8	船型と船体推進の基礎
KE-9	電気理論
KE-10	電気機装概論
KE-11	電力系統設計の基礎
KE-12	回転機一般・船用発電機の概要
KE-13	船用電動機の概要・船用始動機の概要
KE-14	船用配電盤 I (主回路・保護)
KE-15	船用配電盤 II (制御)
KE-16	船内通信システムの概要
KE-17	航海機器及び無線機器概要
KE-18	船内計装システムの概要
KE-19	船内照明設備の概要
KE-20	船用機関関連法規

詳細は学会WEBサイト(<https://www.jime.jp/>)をご参照ください。

7. 録画オンデマンド講義の配信

《機関係》《電気系》全講義を3回に分けて，配信する予定です。(配信期間：3週間)

- ・第1回 10月第1週～
- ・第2回 11月第1週～
- ・第3回 12月第1週～

8. 特記事項

- ・受講者には科目ごとに課題を出題し，レポートを提出していただきます。受講者全員に履修記録を交付します。合格者には修了証を交付します。
- ・受講者へ規定のCPDポイントを付与します。CPDポイントについてはWEBサイト(<https://www.jime.jp/training/cpdpoint>)をご参照ください。当学会会員は，取得ポイントも確認できます。
- ・一部の講義のみを受講することはできません。詳しくは，学会事務局までお問い合わせください。
- ・講義題目は，講師により変更になる場合があります。
- ・受講料は改定する場合があります。

詳細は，WEB サイト(<https://www.jime.jp/>)をご覧ください。